

氏 名 (国 籍)	李 在 旭 (韓 国)
学 位 の 種 類	博 士 (教 育 学)
学 位 記 番 号	博 甲 第 1,974 号
学位授与年月日	平成10年11月30日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
学 位 論 文 題 目	自閉症児・者における援助要求行動の形成と般化に関する研究 ービデオ弁別訓練の効果の検討ー
主 査	筑波大学教授 教育学博士 小 林 重 雄
副 査	筑波大学助教授 加 藤 元 繁
副 査	筑波大学助教授 教育学博士 杉 山 雅 彦
副 査	筑波大学助教授 教育学博士 桜 井 茂 男

論 文 の 内 容 の 要 旨

I. 序論

自閉症児・者にみられるコミュニケーション障害の中で他者に何かを問われた場合に「わかりません」と対応することの困難性が挙げられる。特に「わかりません、教えて下さい」といった援助を要求する発言は難しいとされている。

この困難性が彼らにエコラリアを生じさせ、時にパニック状態を引き起こす原因ともなっている。そこで援助要求行動の形成が問題となる。指導室の場面での指導は短期間で集中的に訓練を行うことができるが、自発性の欠如、そして般化と維持の困難といった問題点が指摘できる(杉山・大野, 1994)。また、日常場面で援助要求行動を形成する場合は、指導の機会が少ないため、行動の形成に時間がかかる可能性がある。そして、指導室の場面と日常場面の両方を用いる場合は、自発性の問題、そして般化と維持の問題を解決することはできるが、コストがかかりすぎる問題点がある。

ビデオ刺激を訓練材料として用いれば、それぞれのかかえている問題を解決することができる。すなわち、援助要求行動が必要とされる様々な場面をビデオで撮影し、訓練刺激とすることによって、般化が促進される可能性がある(Stokes and Osnes, 1986)。

しかし、ビデオ刺激の有効な利用の仕方については明らかにされていない。そこで、本研究では援助要求行動が必要な場面と必要でない場面を弁別し、それらに対して適切な言語応答を行うことを訓練の標的行動とする。そして、いかなる手順でビデオ弁別訓練が導入されることが標的行動の形成と維持、そして般化に有効であるかを明らかにする。

II. 本論

1. ビデオ弁別訓練による援助要求行動の形成と般化に関する研究

1) 自閉症者における援助要求行動の形成と般化に関する研究(研究1)

援助の理由と援助要求行動を標的行動とし、ビデオ弁別訓練を行い、ビデオプロープの全場面で正反応が自発したが、維持テストでは必ずしも期待する結果が得られていない。

2) 精神遅滞者における援助要求行動の形成と般化に関する研究(研究2)

ビデオ弁別訓練に続くビデオプロープの場面の中で1場面を除いて全場面で正反応が自発したが、施設での作

業場面では標的行動が自発しなかった。すなわち、般化までに至っていないことが示された。

3) 自閉症児における教示要求行動の般化に関する研究(研究3)

ビデオ弁別訓練の援助要求行動の般化に及ぼす影響を調べた。その結果、学校の掃除場面で教示要求行動が自発するようになった。この結果は、様々なシーンを視聴させることにより、場面般化の促進が可能であることを示唆している。

2. ビデオ弁別訓練と直接訓練による援助要求行動の形成と般化に関する研究

1) 自閉症児における教示要求行動の形成と般化に関する研究(直接訓練)(研究4)

ビデオ訓練なしで直接訓練のみを行った結果、教示要求行動を形成することはできたが、場面般化は成立しなかった。

2) 自閉症児における教示要求行動の般化に関する研究(直接訓練・ビデオ弁別訓練)(研究5)

直接訓練後のビデオ弁別訓練で、場面般化が成立した。

3) 自閉症者における援助要求行動の般化に関する研究(ビデオ弁別訓練・直接訓練)(研究6)

ビデオ弁別訓練終了後は刺激・反応般化が成立しなかったが(研究6-1)、ビデオ弁別訓練終了後に直接訓練を行った後、刺激・反応般化が成立した(研究6-2)。

Ⅲ. 総合考察

1. ビデオ弁別訓練の効果の検討

研究1, 研究2, そして研究6-1で、対象者は援助の理由と援助要求行動を獲得しただけではなく、ビデオプロンプトの場面で援助の理由と援助要求行動が表出するようになった。このことから、標的行動と関係ある様々な場면을訓練刺激とする長所をもつビデオ弁別訓練が標的行動の獲得と般化をもたらすこと(Stokes and Osnes, 1986), そして標的行動が必要な場面と要らない場면을弁別する手続きは、標的行動の獲得を促進するだけではなく般化をもたらすことが立証された(Horner, Dunlap, and Koegel, 1988)。

しかしながら、研究2と研究6-1の結果から、ビデオ弁別訓練のみでは、不十分で反応クラスとしての成立、不成立という観点から考察された。

そして、ビデオ弁別訓練による他の場面への般化促進には多種の場면을視聴させることが有効であることが明らかになった。

2. ビデオ弁別訓練と直接訓練の効果の検討

研究4, 研究5, 研究6で、ビデオ弁別訓練と直接訓練の手順を変えることにより、援助要求行動の形成と般化に及ぼす影響を調べた。その結果、直接訓練後にビデオ弁別訓練を行う場合もビデオ弁別訓練後に直接訓練を行う場合も、いずれも援助要求行動の般化が促進されることが明確となった。この結果は、範例の数と文脈という2つの観点から考察されている。そして、援助要求行動の般化を促すためには、少なくとも2つの訓練文脈が必要であることを示した。

審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は自閉症障害に共通してみられる援助を要請することの困難についてその克服方法の開発を試みた研究である。

ビデオ弁別訓練を中心にシングルケースデザインにより追求した論文であり、外国人である申請者のことばのハンデにもかかわらず系統的に実験を進め、きちんとまとめられていると評価できる。

よって、著者は博士(教育学)の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。